第２学年通信

VOL.21
2017.9.21（木）

中間試験まで2週間を切りました

２学期が始まって３週間以上過ぎました。全統模試に校内実力テスト、足高祭、そしてスタディーサポートと慌ただしい３週間でしたが、ここでようやく一息といったところでしょうか。しかし、２週間後には中間テストをひかえています。先日配布した学習計画表を活用し、今から対策に取り組んでください。そして憂いなく修学旅行を迎えましょう。

さて、高校生活のうち 532 日が過ぎました。**残りあと526日、折り返し地点を通過**したところです。最初の受験本番である**センター試験までは485日**です。センター試験の国数英の出題範囲は２年生までの学習内容なので、今までにかなりの割合を学習したことになります。一方で、国公立大２次試験や私立大個別入試の出題範囲には３年生以降の学習内容も含まれるし、地歴・公民と理科の学習はまだまだこれからです。つまり、**今授業で学んでいる内容をおろそかにしていると、３年生になった時、新たな内容を学習しつつ２年生までの範囲を一から学ばなければならない**ことになります。したがって、残り半分を切った今こそ日常の授業態度や学習習慣を改めてチェックし、必要があれば修正しておく必要があります。９月４日（月）放送の「テストの花道 ニューベンゼミ」（ＮＨＫ Ｅテレ）では、「クイズで伝授！２学期を勝ち抜く勉強法」と題し、授業を無駄にしない勉強法について紹介していました。そのポイントを以下に紹介します。

◎**１日１５分勉強法**･･･その日に習った範囲の教科書やノートを眺める勉強
　夜１０分（５教科を２分ずつ）
　朝　５分（５教科を１分ずつ）
　※ポイントは、夜勉強したらすぐ寝ること。寝ている間に記憶が整理される。
　※教科書やノートは開いたまま寝て、朝起きてすぐに１分ずつ眺める。一度しまってしまうと出すのが面倒になり、結局やらなくなる。勉強にとりかかるまでの手間をできるだけ少なくしておくのがポイント。
◎**１分間サンドイッチ**･･･授業の前後に一工夫する勉強
　授業の前に１分勉強（前回習った範囲のノートなどを眺める）
　授業の後に１分勉強（今回習った範囲のノートなどを眺める）

もちろん、勉強はこれだけでＯＫというわけでは全くありません。しかし、短い時間でも良いからその日の学習内容を振り返る時間を意識して作ることにより、繰り返し学習する機会が増えることになります。学んだ内容の定着度を上げるために必要なのは繰り返しです。１分間サンドイッチについても、「たかが１分では意味がない」と感じるかもしれません。しかし、半年、１年という長い期間で見た場合、この**「ちょっとしたひと手間」が大きな差を生む**ことになります。

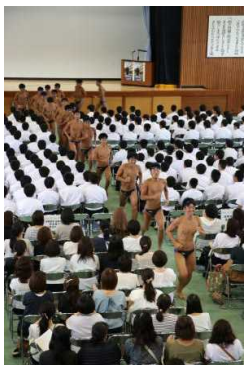
次に、先日実施したスタディーサポートについて気になった点を述べます。マークシートの塗り方を見ると、非常に薄かったり、塗り方が雑だったり、必要事項がモレていたりするものが依然として見受けられました。マークを読み取るのは機械です。**機械が読み取ってくれなければ「無解答」、すなわち０点になります。**もしそれが受験番号だったりすると、未受験ということにもなりかねません。この点については記述式も同様です。**採点官が読めないような字は×または採点の対象外になる**と考えた方が賢明です。テスト以外に関しても、提出書類の不備（ヌケ・モレ）が見受けられます。必要事項を一つ一つ確認しながら記入し、最後にもう一度確認することを習慣づけていれば防げることです。**日常生活において、ちょっとした手間を惜しんで雑にやっていると、それが習慣として染みついてしまい、いざという時に大きなミスをしてしまう**かもしれません。何事も丁寧にやることを心がけてください。

裏面に続きます

２年生の活躍の様子

いよいよ２年生が学校の中核として足高を盛り上げ始めました。

＜８／２２（火）中学生一日体験学習＞



今年は今までとはやり方を変え、「生徒が主役」をコンセプトに企画されました。受付・案内から各プログラムの運営に至るまで、２年生が中心となって大いに活躍しました。おかげで、今年の一日体験学習は例年以上に高い評価を得ることができました。

＜９／１（金）・２（土）足高祭＞

２－１

２－２

２－３

２－４

２－５

２－６

短い準備期間でしたが、あっという間に仕上げて形にする力には脱帽しました。

９月末～１０月の予定

９月３０日（土）土曜補習　※２学期最初の土曜補習です。
１０月　４日（水）～　６日（金）中間テスト
　　１７日（火）～２０日（金）修学旅行
　　２８日（土）～２９日（日）進研記述模試　※５教科、２日間で実施します。

修学旅行について

修学旅行同意書、事前健康調査票を配布・回収し、旅程表もご子息を通じて配布いたしました。今後もご子息を通じて、また、必要に応じて保護者あての通知を配布して留意事項をご連絡いたしますので、ご準備等よろしくお願いいたします。ご不明の点がありましたら、各担任までご質問下さい。